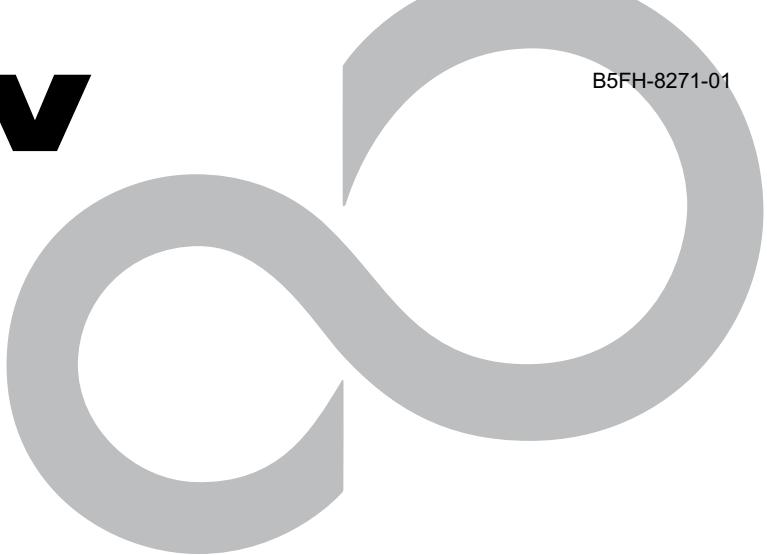


FMV

B5FH-8271-01



FMV-DESKPOWER

取扱説明書

液晶ディスプレイ 17 ワイド TV

VL-17WVX1

FUJITSU

はじめに

このたびは、弊社の液晶ディスプレイー 17 ウィド TV (VL-17WVX1) (以降、本製品と呼びます) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は FMV-DESKPOWER とのセット商品です。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

2003 年 5 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会のパソコンコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パソコン用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。



本製品は JEITA 『PC グリーンラベル制度』の審査基準 (2003 年度版) を満たしています。詳細は、WEB サイト <http://www.jeita.or.jp/> をご覧ください。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただけようお願いいたします。

当社は、国際エネルギースター プログラムの参加事業者として、本製品がパソコン用ディスプレイとしての使用において国際エネルギー スタープログラムの基準を満たしていると判断します。



■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

■本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 ■ 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。

■製品の呼びかたについて

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional	Windows XP

■商標について

Microsoft および Windows、MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。


TIME DOMAIN マーク[®]は
株式会社タイムドメインの登録商標です

■警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

目次

はじめに	1
1 使用上のご注意	7
2 各部の名称と機能	9
3 液晶ディスプレイの接続	14
パソコン本体と接続する	14
USB 機器を接続する	15
アンテナと接続する	16
映像機器と接続する	18
電源を接続する	21
4 チャンネルの設定	22
チャンネルを検出する	22
チャンネル設定を変更する	24
チャンネルを微調整する	26
5 テレビ放送を見る	28
テレビ入力に切り換える	28
見たいチャンネルを選択する	28
音量を調節する	28
音声を切り換える	29
6 AV 機器の映像を見る	30
ビデオ入力に切り換える	30
7 パソコンのディスプレイとして使う	31
PC 入力に切り換える	31
画質を選ぶ	31
8 「あざやかウィンドウ」機能について	34
9 「ツインテレビ」について	36
10 細かい設定を行う	38
メニュー画面の基本的な操作	38
調整項目の内容	39
明るさを調整する	41
表示サイズを変える	41
画質を調整する	43
現在の設定を確認する（PC 入力時のみ）	44
ご購入時の設定に戻す	45
各動作時の調整可能な項目	45
11 「おやすみディスプレイ」機能について	46

12 盗難防止について	49
13 こんなときは	50
画面が表示されない	50
画面がおかしい	51
音が聞こえない／変な音が聞こえる	53
リモコンで操作できない	54
インジケータが点滅する	54
あざやかウィンドウが実行されない	55
ツインテレビが実行されない	55
USB 機器が動かない	56
14 省電力機能について	58
15 日常のお手入れ	59
16 仕様	60
標準表示仕様	60
本体仕様	61

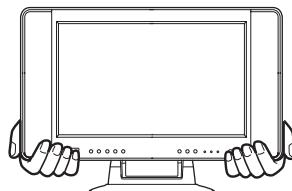
1 使用上のご注意

- ・液晶ディスプレイは次の特性を持っていますが、故障ではありません。
 - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
 - 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
 - 周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。
 - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯するドットが存在する場合があります。
- ・本製品には有寿命部品（LCD 等）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
- ・液晶ディスプレイの取り扱いについて

◆ 重要

▶画面を拭く場合、市販クリーナーの成分によっては画面の表面コーティングを傷める恐れがあります。「日常のお手入れ」をご覧ください。(…▶P.59)

- 衝撃を与える、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。特に、画面のお取り扱いについてはご注意ください。
- ひっかいたり、先のとがったもので押さないでください。画面に傷がつく原因になります。
- スピーカ前面を強い力で押したりしないでください。スピーカが破損する原因となることがあります。
- 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- 持ち運びの際は画面やスタンド部を持たないで、右図のように画面下部を両手で持ってください。



- ・本製品を設置するときは、次の点に注意してください。
 - 窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光が当たらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
 - 液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向き角度を調整してください。
 - 本製品にはワイヤレスキーボード、マウスの受信ユニットが内蔵されていますので、金属製の机の上に置いたり、キーボードおよびマウスと本製品の間に電子機器や金属製のものを置かないでください。ワイヤレスキーボード、マウスがうまく動作しないことがあります。
 - 本製品およびパソコン本体の設置については、パソコン本体の『パソコンの準備』をご覧ください。
 - テレビやラジオ、衛星放送チューナなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。

- 本製品の近くで、携帯電話やPHSなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- ・液晶ディスプレイ専用ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にパソコンの電源を切ってください。
- ・本製品に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。



注意

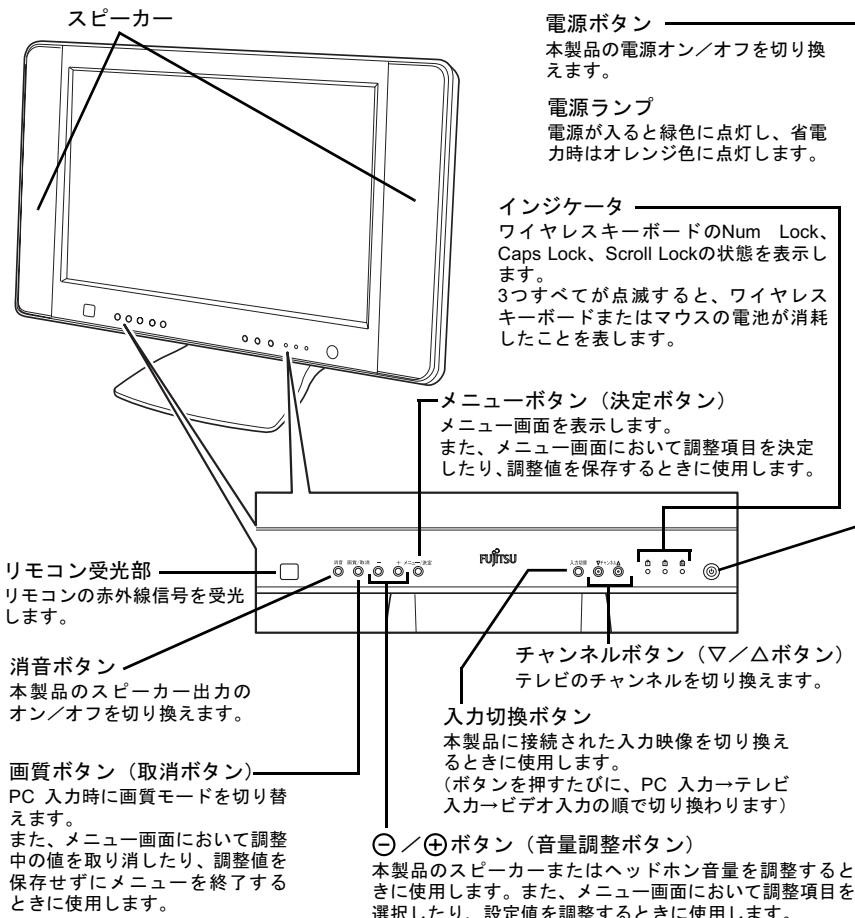
- ・ AC アダプタをぶら下げた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
- ・ AC アダプタは本製品の電源コネクタの奥まで確実に差し込んでください。
- ・ 指定外の AC アダプタは使用しないでください。火災・けがの原因となることがあります。
- ・ 使用中のディスプレイや AC アダプタなどは、布で覆ったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ・ 電源ケーブルや接続ケーブルを AC アダプタに巻き付けないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- ・ AC アダプタに記載されている注意文をよくお読みの上、お使いください。
- ・ 映画などの動画をお楽しみいただくときは、周囲を十分に明るくし、なるべく離れてご覧ください。また、画面が明るすぎると感じたときは、「明るさ」を調整してください。



警告

2 各部の名称と機能

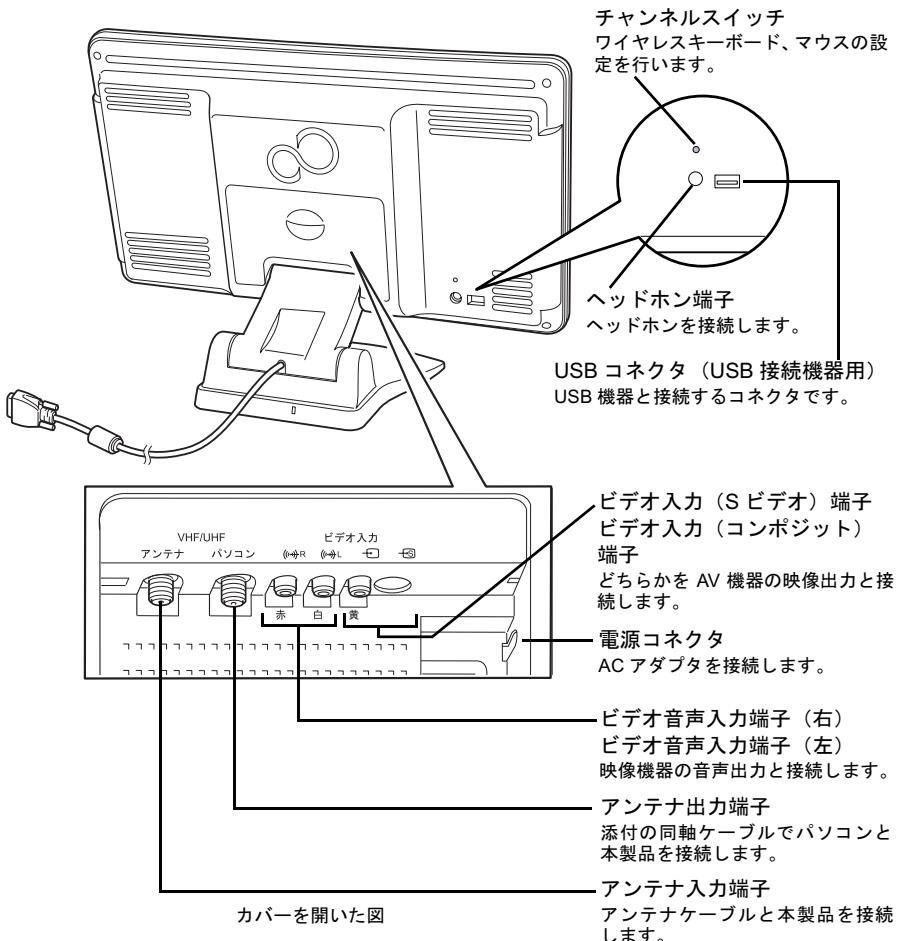
■ 前面



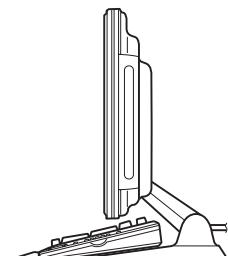
POINT

- ▶ インジケータの表示、電池の交換、チャンネルスイッチ、USB コネクタの使用については、パソコン本体の『パソコンの準備』または『FMV の使い方』をご覧ください。

■背面

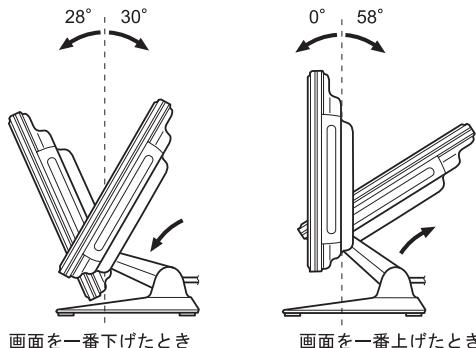


本製品には可動部が2カ所あり、画面の位置を上下させたり、前後に傾けたりすることができます。例えば、パソコンをお使いになるとき、より疲れにくくするために画面位置を下げたり（人間工学的には少し見下ろすように画面位置を調節すると、肩などが疲れにくくなります）、パソコンをお使いにならないときには、画面を上げてスタンド部にキーボードを収納したりすることができます。



キーボードを収納した時

ディスプレイの傾きや画面の上下位置を調節するときは、ディスプレイの上部とスタンド部をおさえ、お好みの傾きや高さに調節してください。



画面を一番下げたとき

画面を一番上げたとき

- ・ 傾きや高さを調節するときに、手などを挟まないようご注意ください。けがの原因となることがあります。



注意

■ リモコン

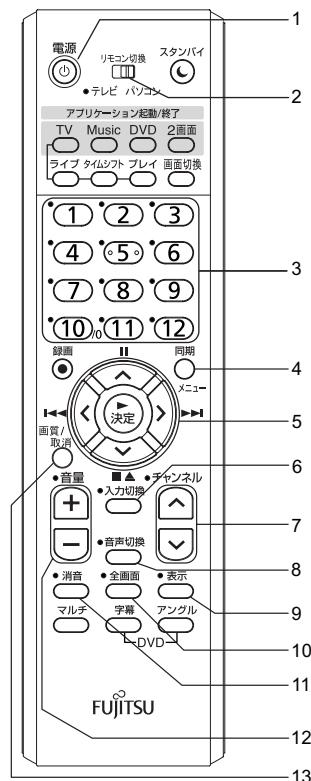
● 重要

► リモコンは、パソコン本体に添付されています。本製品の箱には梱包されていません。

POINT

► ここでは切換スイッチ（後述）を「テレビ」にした時に操作できるボタンについてのみ説明します。

リモコンの切換スイッチを「パソコン」にした時の動作、乾電池の入れ方、リモコン使用時の注意点については、パソコン本体の『FMVの使い方』または『パソコンの準備』をご覧ください。



1 電源ボタン

本製品の電源オン／オフを切り換えます。

2 切換スイッチ

リモコンの操作対象をパソコンまたは本製品に切り換えます。

テレビに切り換えると、リモコンで本製品の操作をすることができます。

3 1～12 ボタン

1～12のテレビチャンネルを選択します。

4 同期ボタン／メニューボタン

メニュー画面を表示します。

また、メニュー画面において調整項目を決定したり、調整値を保存するときに使用します。

(本製品のメニューボタン（決定ボタン）と同じ動作をします)

5 ▲（上カーソル）ボタン／>（右カーソル）ボタン／

▽（下カーソル）ボタン／<（左カーソル）ボタン

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整するときに使用します。

メニュー画面が表示されていないときは本製品のスピーカーまたはヘッドホン音量を調整できます。

6 入力切換ボタン

表示する入力映像を切り替えます。

ボタンを押す度に、PC 入力→テレビ入力→ビデオ入力の順で切り換わります。

(本製品の入力切換ボタンと同じ動作をします)

7 チャンネル（▲）ボタン／チャンネル（▽）ボタン

テレビのチャンネルを切り替えます。

(本製品のチャンネルボタンと同じ動作をします)

8 音声切換ボタン

音声多重放送の場合に、音声を切り替えます。

ボタンを押す度に、主音声→副音声→主+副音声の順で切り換わります。

9 表示ボタン

入力信号の情報を表示します。

10 全画面ボタン

表示サイズを切り替えます。

11 消音ボタン

本製品のスピーカー出力のオン／オフを切り替えます。

(本製品の消音ボタンと同じ動作をします)

12 音量（+）ボタン／音量（-）ボタン

本製品のスピーカーまたはヘッドホン音量を調整できます。

13 画質ボタン／取消ボタン

PC 入力時に画質モードを切り替えます。

また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、調整した値を保存せずにメニューを終了するときに使用します。

(本製品の画質ボタン（取消ボタン）と同じ動作をします)

3 液晶ディスプレイの接続

POINT

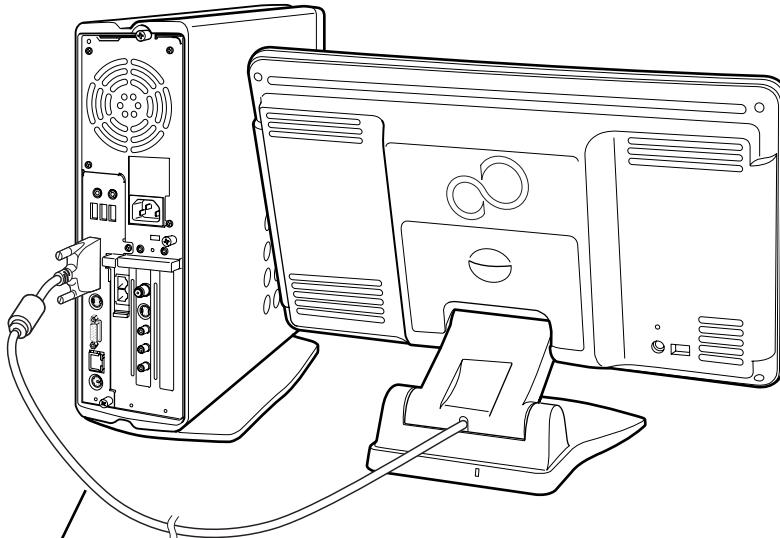
- ▶パソコン本体の『パソコンの準備』の記述もご覧ください。

重要

- ▶パソコン本体に電源ケーブルを接続する前に、先に本製品とパソコン本体との接続を行ってください。
- ▶すべての接続が終了するまで、本製品およびパソコン本体の電源を入れないでください。
- ▶初めて電源を入れるときは、本製品の電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れてください。先にパソコン本体の電源を入れた場合、画面が表示されない、リモコンで操作できない等のトラブルが発生する恐れがあります。

パソコン本体と接続する

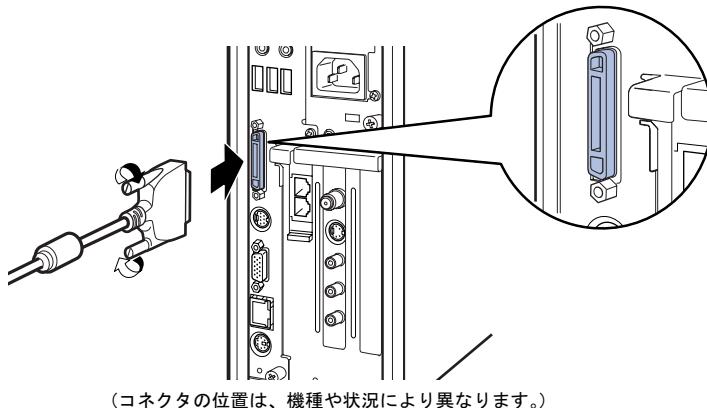
ケーブルを図のよう接続します。



液晶ディスプレイ専用ケーブル
パソコン本体の付属ディスプレイ専用コネクタへ

■ 重要

- ▶ 液晶ディスプレイ専用ケーブルの接続では、コネクタをパソコン本体の付属ディスプレイ専用コネクタにしっかりと差し込み、コネクタ両脇のスクリューネジを締めてください。



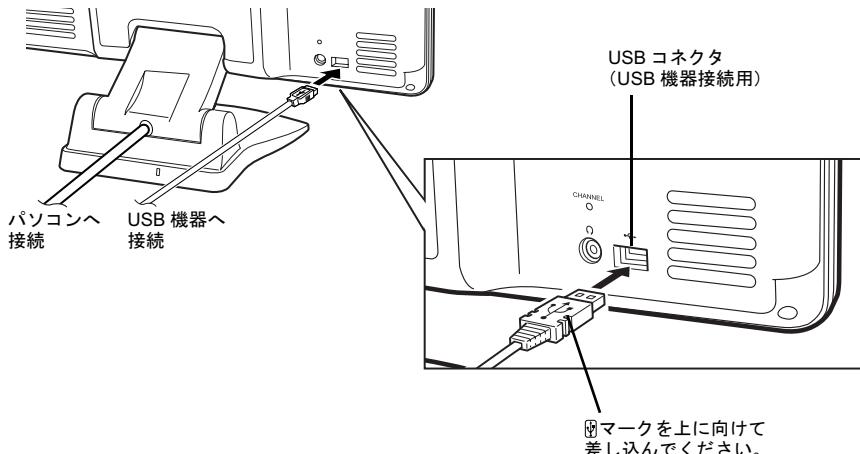
(コネクタの位置は、機種や状況により異なります。)

USB 機器を接続する

ここでは本製品と USB 機器の接続について説明します。パソコン本体と本製品の接続方法については、パソコン本体の『FMV の使い方』をご覧ください。

使用したい USB 機器を本製品の背面にある USB コネクタ (USB 機器接続用) と接続します。このとき、USB マーク (□) のある面を上に向けて、差し込んでください。

パソコン本体が USB 機器を認識するまでに数秒～数 10 秒必要です。認識されるまでの間、コネクタの抜き差しは行わないでください。



□マークを上に向けて
差し込んでください。

重要

- ▶接続するUSB機器によっては、専用のドライバのインストールが必要となる場合があります。この場合はUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- ▶USBインターフェースは市販されているすべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- ▶コネクタを奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。

アンテナと接続する



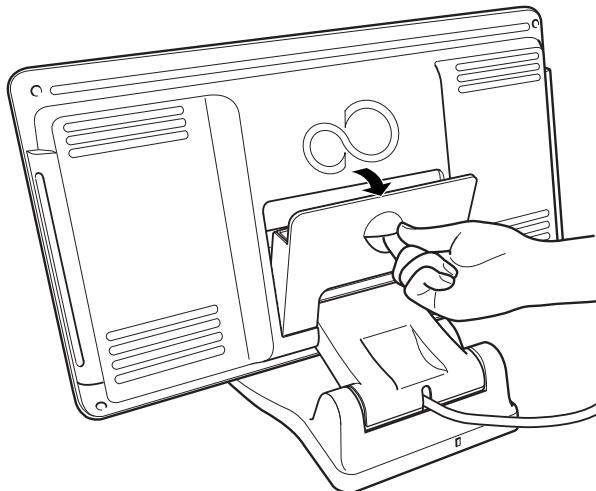
- ・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

警告

POINT

- ▶アンテナケーブル、変換コネクタ、V/Uミキサ、中継コネクタなどは添付していません。テレビと接続しているアンテナケーブルを外して接続するか、市販のものをご購入ください。ご購入する場合は、ケーブルは適切な長さのものを選択してください。
アンテナ設置については、最寄りの電気店にお問い合わせください。

1 本製品背面のカバーをつまみを持って開きます。

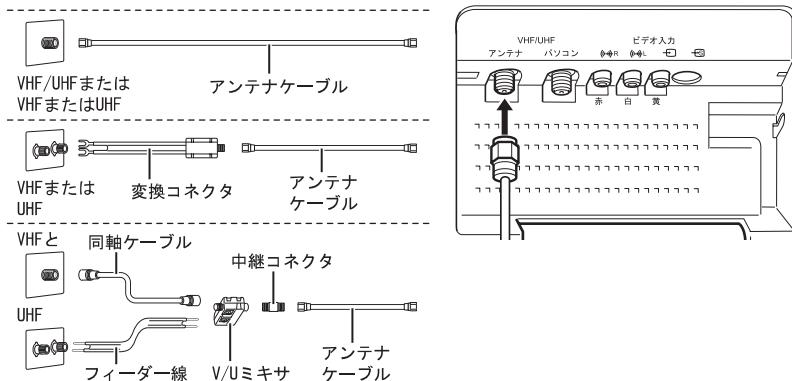


2 アンテナケーブルと本製品を接続する。

接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類をご購入の上、接続してください。

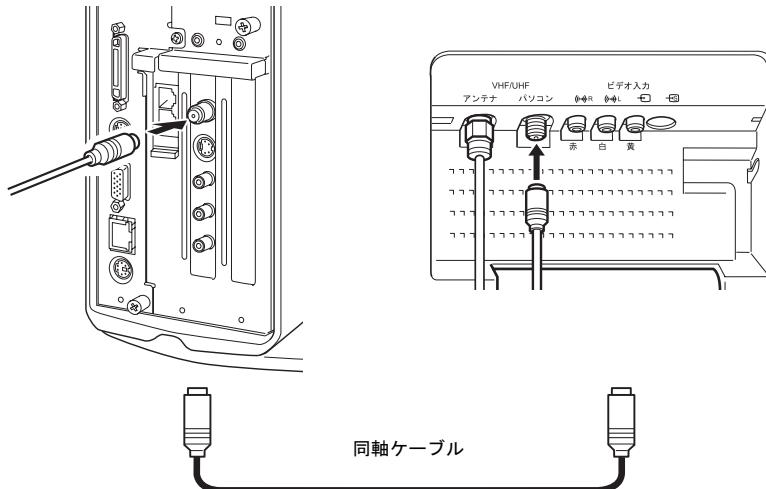
すでにアンテナケーブルが、お客様がお使いのテレビに接続されている場合は、テレビからアンテナケーブルを取り外し、本製品のアンテナ入力端子に接続してください。

アンテナ
コネクタの形 使用するケーブルなど



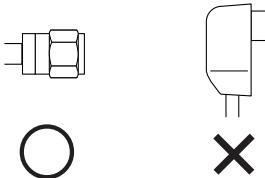
3 本製品とパソコン本体を接続する。

添付の同軸ケーブルで、本製品とパソコン本体を接続してください。



○ 重要

- ▶ アンテナケーブルと本製品の接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタのマニュアルをご覧になるか、電気店にお問い合わせください。



- ▶ 本製品にアンテナケーブル、同軸ケーブルを接続する際は、コネクタの中心にある金属芯を折らないよう、注意して扱ってください。

映像機器と接続する

1 必要なものを用意します。

次のものを用意します。

■ ビデオデッキやビデオカメラ、CS チューナーなどの映像機器

映像出力端子または S 映像出力端子を持つものがお使いになれます。各社から発売されています。

■ ビデオケーブルまたは S 端子ケーブル

本製品と上記映像機を接続するケーブルです。両端がピンプラグのビデオケーブル、または両端が S プラグ (ミニ DIN4 ピン) の S 端子ケーブルがご利用になれます。映像機器の出力端子に応じて、どちらか一方をお選びください。

■ 音声ケーブル

映像機器の音声出力と、本製品のビデオ音声入力端子を接続します。映像機器側の接続については、映像機器のマニュアルをご覧になり、接続に適したケーブルをご購入ください。また、ケーブルは「抵抗なし」のものをお使いください。

■ 映像機器のマニュアル

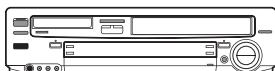
映像機器によって接続が異なります。必ず映像機器のマニュアルをご覧ください。

2 音声ケーブルを接続します。

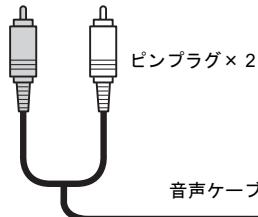
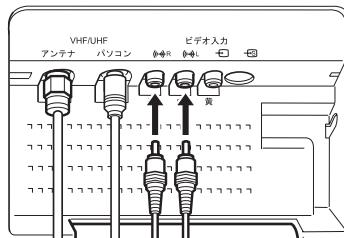
音声ケーブルを、本製品のビデオ音声入力に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の音声出力端子に接続します。

音声ケーブルのピンプラグの色と、本製品の端子の色を合わせて差し込んでください。

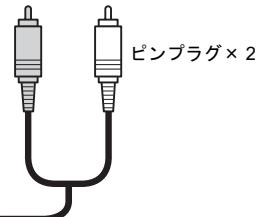
ビデオ、CS チューナーなどの
映像機器



(音声出力端子へ)



音声ケーブル（抵抗なし）

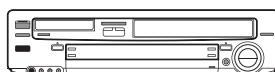


3 ビデオケーブルまたは S 端子ケーブルを接続します。

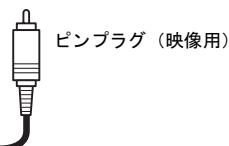
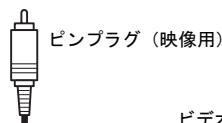
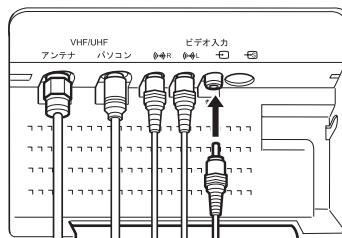
■ ビデオケーブルを接続する場合

ビデオケーブルの一方のプラグを本製品のビデオ入力（コンポジット）端子に、反対側を映像機器側の映像出力端子に接続します。

ビデオ、CS チューナーなどの
映像機器



(映像出力端子へ)

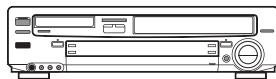


■ S 端子ケーブルを接続する場合

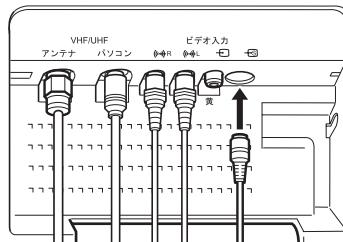
S 端子ケーブルを、本製品のビデオ入力 (S ビデオ) 端子に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の S 映像出力端子に接続します。

S 端子ケーブルを接続する場合は、ケーブルと接続する端子の向きを確認して差し込んでください。無理に差し込むと、本製品および映像機器が破損するおそれがあります。

ビデオ、CS チューナーなどの
映像機器



(S 映像出力端子へ)

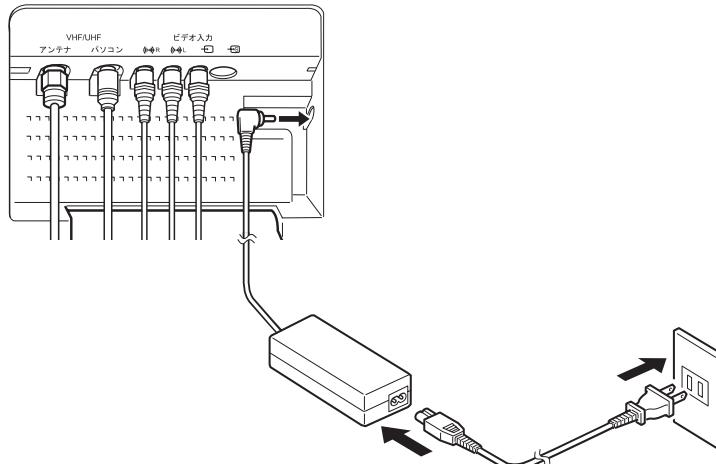


POINT

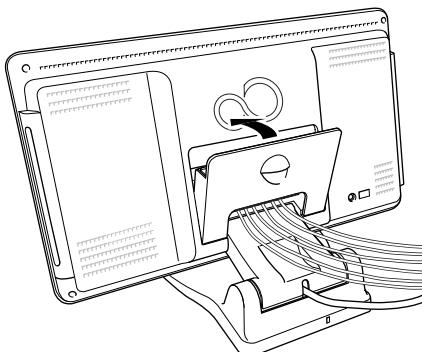
- ▶ ビデオケーブルを接続した状態で更にS端子ケーブルを接続すると、S端子ケーブルからの映像が優先されます。ビデオケーブルからの映像を楽しみたいときは、S 端子ケーブルを接続しないでください。

電源を接続する

- 1 本製品の電源コネクタに添付の AC アダプタを接続し、電源プラグをコンセントにつなぎます。



- 2 全ての接続が完了したことを確認し、カバーを閉じます。
ケーブルを挟み込まないよう注意してください。



- ・本製品はコンセントの近くに設置し、異常が発生したときにすぐに対応できるようにしてください。
- ・万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

4 チャンネルの設定

チャンネルを検出する

放送電波を検出して、チャンネルの自動設定を行います。

POINT

- ▶ チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。
- ▶ CATV の受信はサービス（放送）の行われている地域のみ可能です。CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに有料放送などスクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは、サービスを行っている CATV 会社へご相談ください。
- ▶ BS 放送、CS 放送は受信できません。
- ▶ パソコン本体にインストールされている「TVfunSTUDIO™」のチャンネルを設定した後、「ツインテレビ」から設定したデータを本製品に送り、本製品のチャンネル設定を行うこともできます。「ツインテレビ」の使い方については、「ツインテレビ」のヘルプをご覧ください。

○ 重要

- ▶ リモコンの操作はすべて、リモコンの切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もし切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

- 1 リモコンまたはディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れてください。
- 2 リモコンまたはディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り替えます。
テレビ入力が選択されると、画面右上に「テレビ」と表示されます。
- 3 メニュー ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



- 4 ⊖/⊕ ボタンで「チャンネル設定」を選択し、メニュー ボタンを押します。
- 5 ⊖/⊕ ボタンで「サーチ」を選択し、メニュー ボタンを押します。



6 本製品を VHF/UHF アンテナと接続した場合には「アンテナ」を、CATV と接続した場合には「ケーブル」を選択します。



VHF/UHF の場合



CATV の場合

7 メニューボタンを押すとチャンネルサーチを開始します。

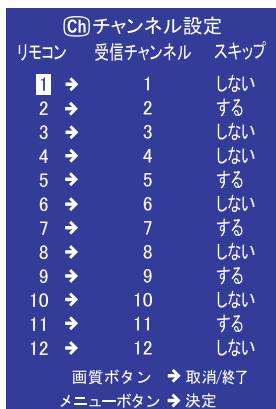


POINT

- ▶ 電波の受信状態が悪い場合、チャンネルサーチを行うごとに検出結果が異なることがあります。

8 チャンネルサーチが完了すると、自動的にチャンネル設定画面に移ります。

チャンネル設定を変更する必要無ければ、画質ボタンを押すと設定が保存され、メニュー画面に戻ります。



POINT

- ▶ チャンネルサーチは、放送電波を検出した順にチャンネル番号を割り当てていきます。このため、ご使用になる地域などの条件によっては、一部のチャンネルが割り当てから外れてしまうことがあります。その場合は次の「チャンネル設定を変更する」を行ってください。

チャンネル設定を変更する

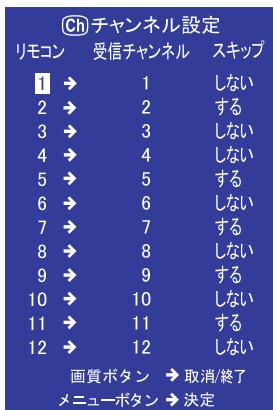
リモコンの各番号ボタンに割り当てる受信チャンネルを設定します。また、チャンネルボタン（▽／△ボタン）でチャンネルを切り換えたときに、不要なチャンネルを飛ばすように設定することができます。

1 メニュー画面で「チャンネル設定」を選択し、メニューボタンを押します。

2 □／△ボタンで「設定」を選択し、メニューボタンを押します。



3 □／△ボタンで割り当てを変更したいボタンの番号を選択し、メニューボタンを押します。



4 \ominus/\oplus ボタンで割り当てたい受信チャンネルを選択し、メニューボタンを押します。

④ Chチャンネル設定		
リモコン	受信チャンネル	スキップ
1 \rightarrow	\ominus 1 \oplus	しない
2 \rightarrow	2	する
3 \rightarrow	3	しない
4 \rightarrow	4	しない
5 \rightarrow	5	する
6 \rightarrow	6	しない
7 \rightarrow	7	する
8 \rightarrow	8	しない
9 \rightarrow	9	する
10 \rightarrow	10	しない
11 \rightarrow	11	する
12 \rightarrow	12	しない

画質ボタン \rightarrow 取消/終了
メニューボタン \rightarrow 決定

POINT

- ▶ チャンネルサーチから続けてチャンネル設定を行っている場合、選択できるのは検出できたチャンネルのみとなります。

5 \ominus/\oplus ボタンでスキップの有無を選択し、メニューボタンを押します。

「する」に設定すると、チャンネルボタン（▽/△ボタン）でチャンネルを切り換えたときにそのチャンネルをスキップします。

⑤ Chチャンネル設定		
リモコン	受信チャンネル	スキップ
1 \rightarrow	1 \ominus しない \oplus	
2 \rightarrow	2	する
3 \rightarrow	3	しない
4 \rightarrow	4	しない
5 \rightarrow	5	する
6 \rightarrow	6	しない
7 \rightarrow	7	する
8 \rightarrow	8	しない
9 \rightarrow	9	する
10 \rightarrow	10	しない
11 \rightarrow	11	する
12 \rightarrow	12	しない

画質ボタン \rightarrow 取消/終了
メニューボタン \rightarrow 決定

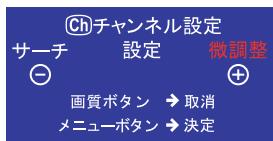
6 続けて設定を行う場合、手順 2 – 4 を繰り返します。

画質ボタンを押すと設定が保存され、メニュー画面に戻ります。

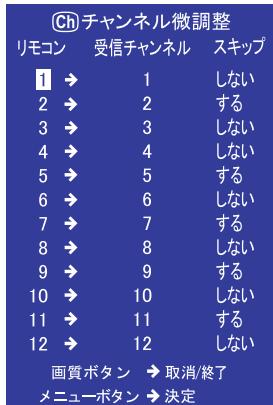
チャンネルを微調整する

ご使用になる地域やCATV、マンションなどの共同受信システムによっては、微調整を行うことにより画質が良くなることがあります。

- 1 メニュー画面で「チャンネル設定」を選択し、メニューボタンを押します
- 2 ⊖／⊕ボタンで「微調整」を選択し、メニューボタンを押します。



- 3 ⊖／⊕ボタンで微調整を行いたいチャンネルの設定されている番号を選択し、メニューボタンを押します。



- 4 \ominus/\oplus ボタンで最適な画質になるように調整し、メニューボタンを押します。

④ Ch チャンネル微調整		
リモコン	受信チャンネル	スキップ
1 \rightarrow	\ominus 1 \oplus	しない
2 \rightarrow	2	する
3 \rightarrow	3	しない
4 \rightarrow	4	しない
5 \rightarrow	5	する
6 \rightarrow	6	しない
7 \rightarrow	7	する
8 \rightarrow	8	しない
9 \rightarrow	9	する
10 \rightarrow	10	しない
11 \rightarrow	11	する
12 \rightarrow	12	しない

画質ボタン \rightarrow 取消/終了
メニューボタン \rightarrow 決定

- 5 \ominus/\oplus ボタンでスキップの有無を選択し、メニューボタンを押します。

「する」に設定すると、チャンネルボタン (∇/\triangle ボタン) でチャンネルを切り換えたときにそのチャンネルをスキップします。

⑤ Ch チャンネル微調整		
リモコン	受信チャンネル	スキップ
1 \rightarrow	1	\ominus しない \oplus
2 \rightarrow	2	する
3 \rightarrow	3	しない
4 \rightarrow	4	しない
5 \rightarrow	5	する
6 \rightarrow	6	しない
7 \rightarrow	7	する
8 \rightarrow	8	しない
9 \rightarrow	9	する
10 \rightarrow	10	しない
11 \rightarrow	11	する
12 \rightarrow	12	しない

画質ボタン \rightarrow 取消/終了
メニューボタン \rightarrow 決定

- 6 続けて他のチャンネルを微調整する場合、手順 2 – 4 を繰り返します。

画質ボタンを押すと設定を保存し、メニュー画面に戻ります。

5 テレビ放送を見る

■ 重要

- ▶ リモコンの操作はすべて、リモコンの切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もし切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

テレビ入力に切り換える

- 1 リモコンまたはディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れてください。
- 2 リモコンまたはディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り替えます。
入力にテレビが選択されると、画面右上に「テレビ」と表示されます。
- 3 チャンネルボタンまたは 1 – 12 ボタンを押して、お好みのチャンネルを選択してください。

見たいチャンネルを選択する

■ リモコンの 1 – 12 ボタンを使う

見たいチャンネルの番号を押すと、そのチャンネルが表示されます。

■ ▼／△ボタンを使う

リモコンまたは本体の△ボタンを押すと次のチャンネルが、▽ボタンを押すと前のチャンネルが表示されます。このとき、チャンネル設定 (⇒ P.22) でスキップを「する」に設定したチャンネルは飛ばされます。

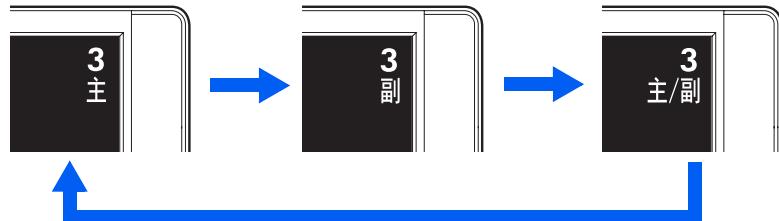
音量を調節する

- 1 リモコンまたは本体の⊖／⊕ボタンを押して、音量を調節します。
⊕ボタンを押すと音量が大きくなり、⊖ボタンを押すと小さくなります。

音声を切り換える

テレビ入力で二ヵ国語放送などの音声多重放送を受信しているときに、音声モードを選択します。

1 リモコンの音声切換ボタンを押して、ご希望の音声モードを選択します。



POINT

▶「主 / 副」を選択した場合、左スピーカーから主音声、右スピーカーから副音声が聞こえます。

6 AV 機器の映像を見る

■ 重要

- ▶ リモコンの操作はすべて、リモコンの切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もし切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

ビデオ入力に切り換える

- 1 リモコンまたはディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れてください。
- 2 リモコンまたはディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、ビデオ入力に切り替えます。

ビデオ入力が選択されると、画面右上に「ビデオ」と表示されます。

■ 重要

- ▶ ビデオの早送りやスローでの再生時は、画面がちらつくことがあります。
- ▶ AV 機器や映像媒体によっては、画面が乱れることがあります。

7 パソコンのディスプレイとして使う

POINT

- ▶ リモコンの操作はすべて、リモコンの切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もし切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

PC 入力に切り換える

- 1 リモコンまたはディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れてください。
- 2 リモコンまたはディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、PC 入力に切り換えてください。
PC 入力が選択されると、画面右上に「PC」と表示されます。
- 3 パソコン本体の電源を入れてください。

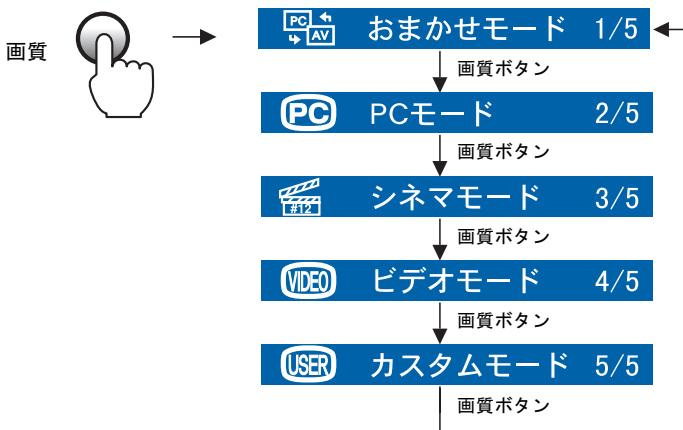
画質を選ぶ

PC 入力時に画質ボタンを押すと、映像の内容に合わせて画質モードを選ぶことができます。

POINT

- ▶ 通常のパソコン画面としてご覧になるときは、PC モードまたはおまかせモードを選ぶことをお勧めします。

画質ボタンを1回押すと、現在の画質モードが表示されます。続けて押すと、以下のように選択が変わります。



モード名	機能
おまかせモード	指定したウィンドウを明るくあざやかにする「あざやかウィンドウ」に対応したモードです。 「あざやかウィンドウ」機能について（ P.34 ）
PC モード	通常のパソコン画面を表示するときに適しています。また、静止画の表示にも最適です。
シネマモード	画面全体が明るくなり、暗い部分の微妙な違いを再現する映画に適した画質になります。
ビデオモード	画面全体が明るくなり、コントラストの高い、非常にメリハリの強い画質になります。
カスタムモード	画面全体が明るくなり、色あい、色の濃さなどを細かく調整できます。

重要

- メニュー画面等が表示されているときは画質モードの選択ができませんので、メニュー画面等の表示が消えた後に、画質ボタンでお好みの画質をお選びください。
メニュー画面については「細かい設定を行う」（[P.38](#)）をご覧ください。
- カスタムモードの細かい調整は、画質ボタンでカスタムモードを選択後、メニューボタンでメニューを表示させ、調整を行ってください。
「画質を調整する」（[P.43](#)）
- カスタムモードで画質の調整を行うと、「あざやかウィンドウ設定」でカスタムを選択したウィンドウにも、その設定が反映されます。
- 「あざやかウィンドウ設定」ダイアログ表示中は画質ボタンでの画質選択ができませんので、「あざやかウィンドウ設定」ダイアログを閉じた後に、画質ボタンにて画質を選択してください。

POINT

- 「あざやかウィンドウ設定」でカスタムを選択したウィンドウの画質調整を行う場合は、「あざやかウィンドウ設定」内の「詳細設定」にて調整を行うと便利です。
- 「あざやかウィンドウ設定」の使い方については、『FMVの使い方』をご覧ください。



注意

- ・ おまかせモード、ビデオモード、シネマモード、カスタムモードのいずれかの画質モードを選択し、映画などの動画を明るい画面でお楽しみいただく際は、周囲を十分に明るくし、なるべく離れてご覧ください。
- また、画面が明るすぎると感じたときは、「明るさ」を調整してください。

8 「あざやかウィンドウ」機能について

画質モードで「おまかせモード」を選択すると、「あざやかウィンドウ設定」(ユーティリティソフト)と連動して、あらかじめ指定されたソフトウェア(ウィンドウ)を明るく表示することができます。例えばDVDは明るい画面で見たいけどメールは明るいと疲れるという場合、DVDのウィンドウのみを明るく表示することができます。

1 「あざやかウィンドウ」の表示



「あざやかウィンドウ設定」で指定したウィンドウ(以降、あざやかウィンドウと呼びます)が画面内にない場合はPCモードと同じ画質になります。あざやかウィンドウがある場合、あざやかウィンドウ内のみ「あざやかウィンドウ設定」で選択した画質(シネマモード、ビデオモード、カスタムモード)になります。あざやかウィンドウ外は、PCモードと同じ画質のままでです。

POINT

- ▶ あざやかウィンドウ内の画質の切り替えかたについては、「FMVの使い方」をご覧ください。
- ▶ あざやかウィンドウを複数起動させていても、明るく表示されるのは1つのウィンドウのみです。
- ▶ あざやかウィンドウ内は液晶ディスプレイの表示能力を最大限に引き出すACC回路が有効となっています。

2 他のウィンドウとの重なりについて



- (a) 上図のように、「あざやかウィンドウ」と他のウィンドウが重なった場合、重なり部分が明るくなる設定になっています。(ご購入時の設定)
 - ・ ウィンドウ以外にも「ツールバー」,「プロパティ画面」等も重なり部分は明るく表示されます。
また、スクリーンセーバーについても重なり部分が明るく表示される場合があります。
- (b) 他のウィンドウと重なった場合、「あざやかウィンドウ」表示をやめ、通常表示に戻す設定に変えることができます。
- (c) 通常表示のウィンドウが「あざやかウィンドウ」上にフルスクリーンで表示された場合は、重なり部分も通常表示となります。
- (d) 「あざやかウィンドウ設定」ダイアログについては、「あざやかウィンドウ」と重なっても常に明るく表示されます。

POINT

- ▶ あざやかウィンドウは、標準表示仕様の解像度にて表示した場合のみ対応可能です。標準表示仕様以外の解像度で表示された場合、おまかせモードになっていても、PCモードと同じ画質設定となります。「標準表示仕様」(☞ P.60)
- ▶ 下記の操作後は、「あざやかウィンドウ」表示が行われない場合があります(通常表示となる)。

1. 表示画面設定(解像度、色数、リフレッシュレート等)の変更
2. スタンバイ、休止状態からの復帰
3. ユーザーの切り替え
4. TV出力のON/OFF切り替え
5. おやすみディスプレイ動作中または終了後

この場合、通知領域(タスクトレイ)の「あざやかウィンドウ設定」アイコンを左クリックすると「あざやかウィンドウ」表示に復帰します。



“あざやかウィンドウ設定”アイコンをクリックする。

- ▶ 「あざやかウィンドウ」は、おまかせモードのみ対応しております。他の画質モードでは「あざやかウィンドウ」は動作しませんので、画質ボタンにておまかせモードに設定するか、あざやかウィンドウ設定アイコンをクリックし、おまかせモードに変更してください。

9 「ツインテレビ」について

「ツインテレビ」はパソコン画面上に、本製品に接続したテレビ放送、AV 機器の映像をウィンドウ表示する機能です。

「TVfunSTUDIO™」で番組録画中に他のチャンネルを見ながらパソコンを楽しみたいときなどに最適です。

■「ツインテレビ」の起動／終了

- 1 リモコンの2画面ボタンを押すか、Windowsのスタートメニューから「ツインテレビ」をクリックします。



- 2 「ツインテレビ」の操作パネルでチャンネル変更や入力切換を行い、お好みの映像を選択してください。
- 3 「ツインテレビ」起動中にリモコンの2画面ボタンを押すか、ウィンドウの「閉じる」をクリックすると終了します。

■他のウィンドウなどと重なった場合

「ツインテレビ」の設定メニューより、映像ウィンドウが他のウィンドウなどと重なった場合の動作について、下図の3つから選択することができます。



常に最前面に表示
(初期値)



透過して最前面に表示



ウィンドウ枠を残して非表示

マウスカーソルが映像領域に重なった場合、マウスカーソルが消えてしまいますが、しばらくすると映像が半透明表示となり、マウスカーソルが現れます。

POINT

- ▶「ツインテレビ」の詳しい使い方については、「ツインテレビ」のヘルプをご覧ください。
- ▶「ツインテレビ」は、1280 × 768 の解像度にて表示した場合のみ対応しています。他の解像度にて表示中、または解像度変換を行った場合、「ツインテレビ」は動作しません。
- ▶チャンネル変更、音声切換は、リモコンの切換スイッチを「テレビ」にし、チャンネルボタン、音声切換ボタンでも操作できます。
- ▶「ツインテレビ」は映像領域が最大 640 × 480 となっています。全画面サイズで映像をお楽しみになりたいときは、リモコンの画面切換ボタンを押して画面を切り換えてください。
- ▶「ツインテレビ」の音声は、本製品のスピーカーからしか出力されません。

10 細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、画面下のメニュー／決定ボタン、 \ominus ／ \oplus ボタン、画質／取消ボタン、消音ボタンを使用します。

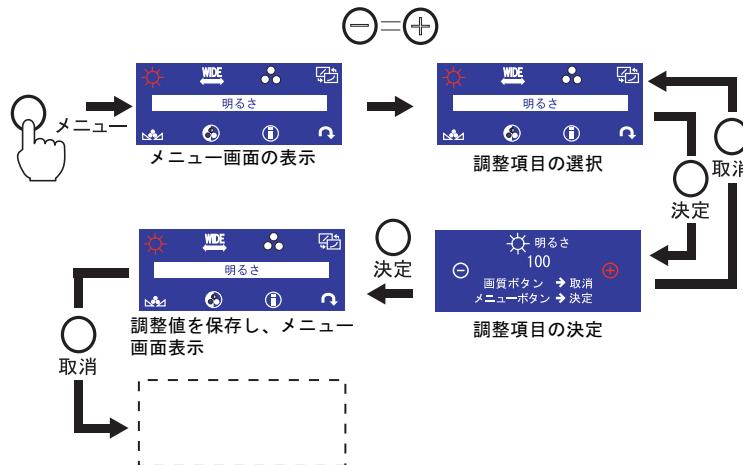
メニュー画面の基本的な操作

■ ボタンの基本機能

メニュー／決定ボタン	→ メニュー表示／決定
\ominus ／ \oplus ボタン	→ 選択／調整／音量調整
画質／取消ボタン	→ 画質選択／取消
消音ボタン	→ 消音

■ 操作手順

例) 明るさ



POINT

- 音量調整、画質選択、スピーカーオン／オフのいずれかが表示されている状態で、3秒以上ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。

◆ 重 要

▶ 各解像度とも保存された内容で画面が表示されます。

▶ 「あざやかウィンドウ設定」ダイアログ表示中は音量調整、スピーカーオン／オフ以外の操作ができなくなります。「あざやかウィンドウ設定」ダイアログを閉じた後に、画面の設定を行ってください。

調整項目の内容

アイコン	名称	機能
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。
	ワイド画面切替	<p>PC 入力時 各解像度の画面を画面いっぱいに拡大するか、画面の縦横比を守って拡大表示するかを選択します。</p> <p>ワイド：画面いっぱいに拡大します。標準表示仕様(640 × 400、720 × 400、1280 × 768 は除く)以外の解像度の画面は拡大されません。</p> <p>ノーマル：画面の縦横比を守って拡大表示します。画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります。</p> <p>テレビ／ビデオ入力時 表示サイズを 4 種類から選択します。</p> <p>ノーマル：画面の縦横比を守って表示します。画面の内側に表示され、画面の左右は黒い帯になります。</p> <p>ワイド1：スクイーズ映像を最適に表示します。画面の上下は黒い帯になります。(縦横比 16 : 9)</p> <p>ワイド2：画面中央から両端に向かってスムーズに引き伸ばすことによって、少ない異和感で画面いっぱいに表示します。</p> <p>ズーム：縦横比を変えずに画面いっぱいに表示します。(映像の上下がカットされます)</p>
 ※ PC 入力時のみ	カラー	<p>デフォルト：ご購入時の設定です。通常はこの設定でお使いください。</p> <p>ユーザー：メニューでお好みの色に調整できます。R (赤)、G (緑)、B (青) の各色で調整します。</p>
	ガンマ補正	<p>画面の明暗部分のバランスを 3 種類から選択します。</p> <p>PC (標準)：適度なコントラストで標準的な画質になります。</p> <p>シネマ：暗い部分の微妙な違いを再現するのに適した画質になります。</p> <p>ビデオ：コントラストが高く、メリハリの強い画質になります。</p>

アイコン	名称	機能
	色あい	画面の色あいを調整します。 + : 赤みがかります。 - : 緑がかります。
	色のこさ	画面の色の濃さを調整します。 + : 濃くなります。 - : 薄くなります。
	情報表示	現在設定されている解像度と周波数が数値で、画質モードがアイコンで表示されます。
	リセット	チャンネル設定を除く全ての項目をご購入時の設定にします。
	コントラスト	画面の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。
	チャンネル設定	チャンネルの設定を行います。 サーチ : 放送電波を自動検出し、チャンネルを設定します。 設定 : リモコンの数字ボタンへのチャンネルの割り当てを設定します。 微調整 : 各チャンネルの受信状態を微調整します。
<small>※ PC 入力時のみ</small>		
<small>※ テレビ/ビデオ入力時のみ</small>		
<small>※ テレビ入力時のみ</small>		

音量調整、スピーカーオン／オフは、メニュー画面を表示せずに、直接、⊖／⊕ボタンまたは消音ボタンで調整できます。

アイコン	名称	機能
	音量	本製品のスピーカーまたはヘッドホンの音量を調整します。 ⊕ボタンを押すと音量が大きく、⊖ボタンを押すと音量が小さくなります。 スピーカーオフの設定時に音量を調整すると、スピーカーオフは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。
	スピーカーオン／オフ	本製品のスピーカーのオン／オフを選択します。 外付けのスピーカーを使用したいときなどに、本製品のスピーカーをオフにすることができます。 消音ボタンを押すたびに、オンとオフをくり返します。スピーカーオフのときに音量を調整すると、スピーカーオフは解除されます。

明るさを調整する

画面が明るすぎる場合または暗い場合に、お好みの明るさに調整してください。

- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 \ominus/\oplus ボタンで「明るさ」を選択し、メニューボタンを押します。
- 3 \ominus/\oplus ボタンで明るさを調整し、メニューボタンを押します。



表示サイズを変える

■テレビ/ビデオ入力時

表示サイズを下記の4種類から選択できます。

ノーマル：画面の縦横比を守って表示します。画面の内側に表示され、画面の左右は黒い帯になります。

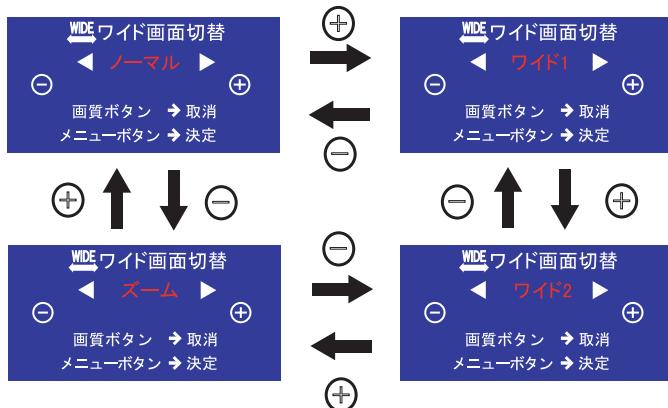
ワイド1：スクイーズ映像を最適に表示します。画面の上下は黒い帯になります。（縦横比16:9）

ワイド2：画面中央から両端に向かってスムーズに引き伸ばすことによって、少ない異和感で画面いっぱいに表示します。

ズーム：縦横比を変えずに画面いっぱいに表示します。（映像の上下がカットされます）

- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 \ominus/\oplus ボタンで「ワイド画面切替」を選択し、メニューボタンを押します。

3 ⊖／⊕ボタンで表示サイズを選択し、メニュー ボタンを押します。



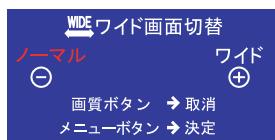
■ PC 入力時

画面の解像度を 1280×768 以外に設定すると、通常は画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります。ワイド画面切替でワイドを選択すると、 1280×768 以外の解像度の画面も画面いっぱいに拡大されるようになります。ただし、画面の解像度を 640×400 、 720×400 にした場合は拡大できません。

POINT

- 標準表示仕様以外の解像度の画面は拡大されません。

- 1 メニュー ボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 ⊖／⊕ボタンで「ワイド画面切替」を選択し、メニュー ボタンを押します。
- 3 ⊖／⊕ボタンで表示サイズを選択し、メニュー ボタンを押します。



POINT

- リモコンの切換スイッチを「テレビ」にし、全画面ボタンを押しても、表示サイズを切り換えることができます。

画質を調整する

■テレビ／ビデオ入力時

コントラスト、ガンマ補正（明暗部分のバランス）、色あい、色のこさを調整することにより、お好みの画質に設定することができます。

- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 \ominus/\oplus ボタンで「コントラスト」、「ガンマ補正」、「色あい」、「色のこさ」のどれかを選択し、メニューボタンを押します。
- 3 \ominus/\oplus ボタンで、お好みの調整値または設定値を選択し、メニューボタンを押します。

コントラスト



ガンマ補正



色合い



色のこさ



■PC 入力時

画質モードでカスタムモードを選択時のみ、カラー、ガンマ補正、色あい、色のこさで画質を調整することができます。カラーで「ユーザー」を選択すると、色をより細かく設定できます。

- 1 画質ボタンを押して、「カスタムモード」を選択します。
- 2 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 3 \ominus/\oplus ボタンで「カラー」、「ガンマ補正」、「色あい」、「色のこさ」を選択し、メニューボタンを押します。

- 4 \ominus/\oplus ボタンで、お好みの調整値または設定値を選択し、メニューボタンを押します。

カラー



カラー調整



ガンマ補正



色合い



色のこさ



現在の設定を確認する (PC 入力時のみ)

現在設定されている内容を表示することができます。

- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
2 \ominus/\oplus ボタンで「情報表示」を選択し、メニューボタンを押します。

現在設定されている解像度（モード）、画質モード、ワイド画面切替設定およびスピーカーの状態が数値とアイコンで表示されます。

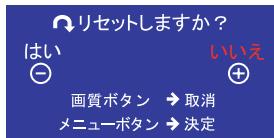


- 3 画質ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

ご購入時の設定に戻す

チャンネル設定以外の全ての項目をご購入時の設定に戻すことができます。

- 1 メニュー ボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 ⊖/⊕ ボタンで「リセット」を選択し、メニュー ボタンを押します。
- 3 ⊖/⊕ ボタンで「はい」を選択し、メニュー ボタンを押します。



各動作時の調整可能な項目

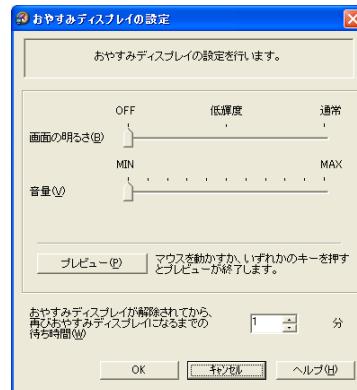
	PC入力					テレビ入力	ビデオ入力
	PC モード	シネマ モード	ビデオ モード	カスタム モード	おまかせ モード		
音量調整	○	○	○	○	○	○	○
スピーカー オン/オフ	○	○	○	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○	○	○	○
ワイド画面切替	○	○	○	○	○	○	○
カラー	×	×	×	○	×	×	×
ガンマ補正	×	×	×	○	×	○	○
色あい	×	×	×	○	×	○	○
色のこさ	×	×	×	○	×	○	○
情報表示	○	○	○	○	○	×	×
コントラスト	×	×	×	×	×	○	○
チャンネル設定	×	×	×	×	×	○	×
リセット	○	○	○	○	○	○	○

11 「おやすみディスプレイ」機能について

「おやすみディスプレイ」とは、パソコンを無人運転させている間（例えば、留守中または就寝中）にTV録画、メール受信等を行う場合、ディスプレイの明るさを自動で暗くすることによって消費電力を低減できます。

「おやすみディスプレイ」は設定ダイアログで以下の項目について調整ができます。

- ・明るさ（オフ／低輝度／通常）
- ・音量
- ・おやすみディスプレイ再移行への待ち時間

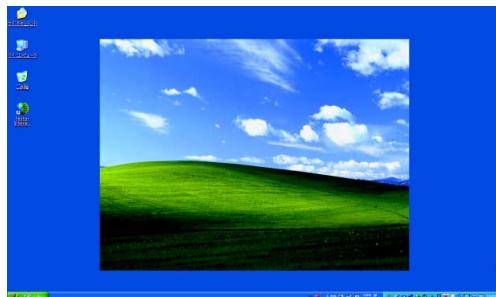


POINT

- ▶ おやすみディスプレイはパソコン本体の省電力機能とは異なります。パソコン本体の省電力機能についての詳細は『FMVの使い方』をご覧ください。
- ▶ 明るさでオフを選択しても外光の影響により表示内容が見えることがあります、故障ではありません。
- ▶ 「おやすみディスプレイ」動作中に映像の入力切換を行うと、画面の明るさの設定内容が取り消されてしまいます。再び「おやすみディスプレイ」を動作させるには、一度キーボードまたはマウスを操作して「おやすみディスプレイ」を解除した後に、再び「おやすみディスプレイ」になるのを待ってください。

■ショートカットキー

おやすみディスプレイは「PowerUtility」(ユーティリティソフト) のオプション設定から実行する以外に、ショートカットキー (Alt+Ctrl+O) でも簡単におやすみディスプレイに移行できます。

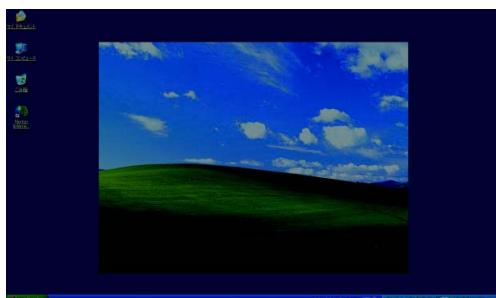


おやすみディスプレイオフ

Alt+Ctrl+O



Alt+Ctrl+O



おやすみディスプレイオン

※設定ダイアログでの設定によって表示は異なります。

キーボードまたは
マウスを操作



一定時間放置



通常表示に戻る

おやすみディスプレイの設定を変更する場合は、ショートカットキー（Alt+Ctrl+S）にて設定ダイアログを呼び出し、設定の変更を行ってください。

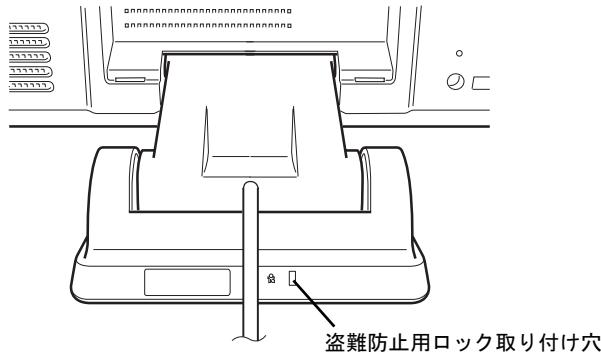
POINT

- ▶ おやすみディスプレイ動作中にキーボードまたはマウスを操作すると通常表示に戻りますが、一定時間パソコンを放置すると、再びおやすみディスプレイに移行します。
- ▶ 「PowerUtility」の使い方は「PowerUtility」のヘルプをご覧ください。

12 盗難防止について

本製品のスタンド部背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。

市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



POINT

- ▶ 盗難防止用ロック取り付け穴は、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに 対応しています。
商品名 : SLIM MICROS AVER
商品番号 : 0522011
(富士通コワーコ株式会社取り扱い品 お問い合わせ : 03-3342-5375)

13こんなときは

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。

下図の【参照ページ】に『』で表記されているのは、パソコン本体側のマニュアル名です。該当するマニュアルをご覧ください。

問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」のご利用については、『サポート & サービスのご案内』をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルまたはACアダプタが正しく接続されていない。	電源ケーブルまたはACアダプタを正しく奥まで確実に接続してください。	「電源を接続する」(▶ P.21)
	電源が入っていない。	電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(▶ P.9)
電源ランプがオレンジ色に点灯しており、メニュー ボタンを押すと「節電に入ります」とメッセージが表示される	パソコンが省電力状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	『FMVの使い方』
	パソコンの電源が入っていない。	パソコンの電源を入れてください。	—
	液晶ディスプレイ専用ケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない。	パソコン本体に液晶ディスプレイ専用ケーブルを正しく接続してください。	「パソコン本体と接続する」(▶ P.14)
電源ランプが緑色に点灯している	ビデオ入力端子に接続されたAV機器の電源が入っていない。	AV機器の電源を入れてください。または入力切換ボタンで他の入力を選択してください。	—
電源ランプが緑色に点灯するが、画面が表示されない。 場合によっては以下のメッセージも表示される。 「規定外の信号です」 「入力信号がありません」	パソコン本体の設定が標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(▶ P.60) および『FMVの使い方』
	液晶ディスプレイ専用ケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない。	パソコン本体に液晶ディスプレイ専用ケーブルを正しく接続してください。	「パソコン本体と接続する」(▶ P.14)

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプがオレンジ色に点灯しており、メニュー ボタンを押しても、メッセージが表示されない	おやすみディスプレイが実行中である。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。通常表示に戻ります。またはショートカットキーによりおやすみディスプレイをオフしてください。	「おやすみディスプレイ」機能について (\blacktriangleright P.46)

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
・ 文字の太さが場所によって異なる ・ 画面の内容が大きくぼやけて表示される	パソコン本体の設定が 1280 × 768 よりも低い解像度になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面にするには「画面のプロパティ」で解像度を 1280 × 768 に設定してください。	『FMVの使い方』
電源投入直後や Windows の起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り替わるため。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
以下のメッセージが表示される ・ 「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」 (\blacktriangleright P.60) および『FMVの使い方』
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	『FMVの使い方』
画面が明るすぎる	PC 入力時の画質モードが、ビデオモード、シネマモード、カスタムモードのいずれかになっている。	画質モードを PC モードに変更してください。	「画質を選ぶ」 (\blacktriangleright P.31)
	明るさが最大になっている。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「明るさを調整する」 (\blacktriangleright P.41)
	あざやかウィンドウ設定で指定したソフトウェアを表示している。	通知領域（タスクトレイ）のあざやかウィンドウ設定アイコンを右クリックし、「あざやかウィンドウ表示しない」を選択してください。	『FMVの使い方』

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が暗くなつた	明るさが最小になつている。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「明るさを調整する」 (P.41)
	液晶は蛍光管を使用しており、寿命になると明るさが低下します。また、若干黄色くなることがあります。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パソコン製品に関するお問合せ窓口」までご連絡ください。	—
	おやすみディスプレイが実行中である。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。通常表示に戻ります。またはショートカットキーによりおやすみディスプレイをオフしてください。	「おやすみディスプレイ」機能について (P.46)
文字に違う色がにじんで見える	スクリーンフォントにClearTypeを使用している。	下記の手順に従って、スクリーンフォントの設定を変更してください。 1. 画面のプロパティを開きます。 2. [デザイン] タブで [効果] をクリックします。 3. [効果] ダイアログボックスの [次の方法でスクリーンフォントの縁をなめらかにする] チェックボックスがオンになっていることを確認します。 4. プルダウンメニューから [標準] をクリックします。	—
画面を切り替へても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	本製品の電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。スクリーンセーバを設定することをお勧めします。	—
画面いっぱいに表示されない	パソコンの設定が拡大できない解像度（モード）になつている（標準表示仕様以外のモードになつている）。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。 ただし、640×400、720×400は画面いっぱいに表示できません。	「標準表示仕様」 (P.60) および『FMVの使い方』
	ワイド画面切替が「ノーマル」になつている。	ワイド画面切替を「ワイド」に設定してください。	「表示サイズを変える」 (P.41)
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードまたはガンマ補正を変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」 (P.31) および「画質を調整する」 (P.43)

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
テレビ放送が映らない	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	「アンテナと接続する」 (\Rightarrow P.16)
	チャンネルが設定されていない。	チャンネル設定を行ってください。	「チャンネルの設定」 (\Rightarrow P.22)
	テレビ入力が選択されていない	入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えてください	「テレビ放送を見る」 (\Rightarrow P.28)
テレビ放送の映像が不鮮明	電波の受信状態がよくない。	チャンネル設定の微調整で、最適になるよう調整してください。	「チャンネルを微調整する」 (\Rightarrow P.26)
	アンテナケーブルが正しく接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	「アンテナと接続する」 (\Rightarrow P.16)
テレビ放送の映像が二重、三重に見える	山や建物からの反射波の影響を受けている。	アンテナの位置、方向、角度を調整してください。	—
・テレビ放送の映像に斑点や縞模様が見える ・テレビ放送の映像が揺れる	自動車やバイク、高压線、ヘアドライヤーなどの電化製品からの影響を受けている。	設置場所を変えてみてください。	—

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のスピーカーの設定がオフになっている	消音ボタンを押して、スピーカーオン／オフを切り替えてください。	「各部の名称と機能」(\Rightarrow P.9)
	音量が最小になっている。	メニュー画面が表示されていない状態で、 \oplus 、 \ominus ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」(\Rightarrow P.9)
	本製品にヘッドホンが接続されている。	本製品にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。	—
	パソコン本体の音量設定が最小になっている。	適切な音量に調節してください。	『FMVの使い方』
	パソコン本体の音量設定がミュートになっている (タスクバーに M と表示されている。画面の音量つまみのミュートが \checkmark になっている)。	リモコンの切換スイッチをPC側にした状態で消音ボタンを押すか、画面の音量つまみのミュートの \checkmark をクリックして、 \square にしてください。	『FMVの使い方』
	ビデオ入力の音声ケーブルが接続されていない。	本製品およびAV機器に音声ケーブルを正しく接続してください。	「映像機器と接続する」 (\Rightarrow P.18)

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
ディスプレイの音量調整、またはスピーカーオン／オフが設定できない	液晶ディスプレイが省電力状態になっている。	電源ランプがオレンジ色に点灯しているときは、設定できません。キーボードまたはマウスを操作して、省電力状態を解除した後で、調整を行ってください。	「省電力機能について」 (P.58)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、PHSなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、PHSなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
入力切換時や電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
チャンネル切換時に一瞬雑音が聞こえる	受信できないチャンネルを選択したため。	他のチャンネルを選択するかチャンネル設定を変更してください。	「チャンネル設定を変更する」 (P.24)

リモコンで操作できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンの電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください。	『パソコンの準備』
	リモコン電池の極性（+ -）が逆になっている。	電池の極性（+ -）を正しい向きに入れてください。	『パソコンの準備』
	リモコンの切換スイッチがPC側になっている。	本製品をリモコンで操作する場合は、切換スイッチをテレビ側にしてください。	「各部の名称と機能」(P.9)
	本製品の電源ケーブルまたはACアダプタが正しく接続されていない。	電源ケーブルまたはACアダプタを正しく奥まで確実に接続してください。	「電源を接続する」(P.21)
	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている。	本製品の向き、設置場所を変えてください。	—
	リモコンの信号がリモコン受光部に届いてない。	リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。	—

インジケータが点滅する

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
キーボード、マウスを操作すると、しばらくの間インジケータが点滅する	キーボード、マウスの電池残量が少なくなっている。	キーボードやマウスの電池を交換してください。	『FMVの使い方』

あざやかウィンドウが実行されない

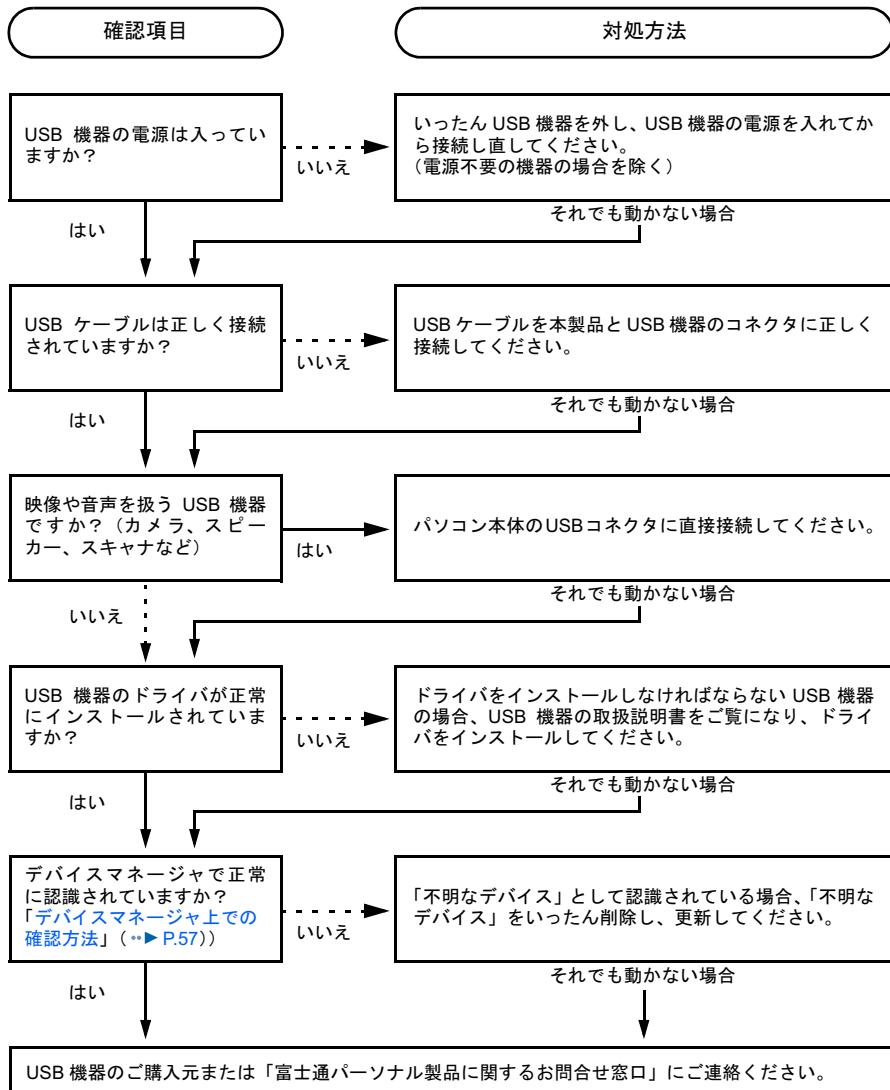
症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
あざやかウィンドウが実行されない	本製品の画質モードがおまかせモードになっていない。	画質ボタンにて、おまかせモードに設定するか、通知領域（タスクトレイ）のあざやかウィンドウ設定アイコンを右クリックし、「あざやかウィンドウ表示する」を選択してください。	「画質を選ぶ」 ⇒ (P.31) 『FMVの使い方』
	あざやかウィンドウ設定で、「あざやかウィンドウ表示しない」になっている。	通知領域（タスクトレイ）のあざやかウィンドウ設定アイコンを右クリックし、「あざやかウィンドウ表示する」を選択してください。	『FMVの使い方』
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」 ⇒ (P.60) および『FMVの使い方』

ツインテレビが実行されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
ツインテレビが実行されない	1280×768以外の解像度になっている。	解像度を1280×768に設定してください。	『FMVの使い方』
	あざやかウィンドウ設定が起動していない。	スタートメニューからあざやかウィンドウ設定を起動させてください。	—

USB 機器が動かない

以下のチャートに従って原因を確認し、対処してください。

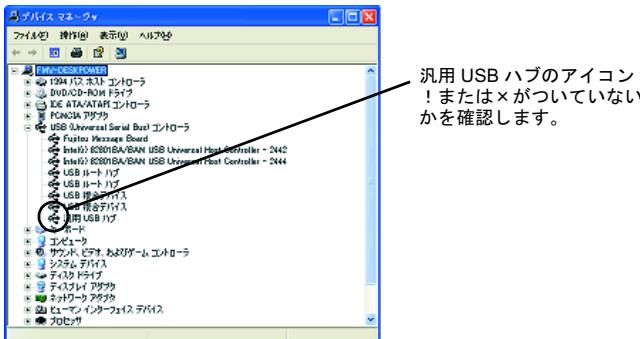


POINT

▶ デバイスマネージャ上での確認方法

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。(クラシック表示に設定している場合、この項をとばしてください。)
3. 「システム」をクリックして、「システムのプロパティ」を表示します。
4. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
5. デバイスマネージャに表示される汎用 USB ハブのアイコンを確認します。
「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下に表示されます。
! または × がついていないければ正常認識されています。

Windows XP



(デバイスマネージャの表示は環境によって異なります。)

▶ USB 機器が不明なデバイスとして認識されている、または USB 機器が認識できない場合の対処方法

下記手順に従って接続し直してください。

※ USB 機器の電源が入っていることを、必ず確認してください。

1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. 本製品と USB 機器間の USB ケーブルを抜きます。
3. パソコンの電源を切断し、本製品とパソコン間の液晶ディスプレイ専用ケーブルを抜き、もう一度接続します。
4. パソコンの電源を入れ、本製品と USB 機器間を USB ケーブルで接続します。

14省電力機能について

本製品はパソコンの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。省電力機能の設定によって、本製品の消費電力および電源ランプの状態が異なります。省電力機能の設定および復帰方法はパソコン本体の『FMVの使い方』をご覧ください。

		最大消費時	通常時	スタンバイ／休止状態時
消費電力		67W	44W	6W 以下
動作	画面表示	表示あり	表示あり	表示なし
	電源ランプ	緑色	緑色	オレンジ色

POINT

- ▶「省電力機能」とは、パソコンの消費電力を抑えるための機能です。
- ▶スタンバイ、休止状態の2種類があります。詳細はパソコン本体の『FMVの使い方』をご覧ください。
- ▶「最大消費時」の値は、スピーカーとUSBコネクタを使用している場合です。
- ▶「通常時」、「スタンバイ時」の値は、スピーカーとUSBコネクタを使用しない場合です。

15 日常のお手入れ

■清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切ったあと、本製品に接続されているすべてのケーブルを抜いてください。

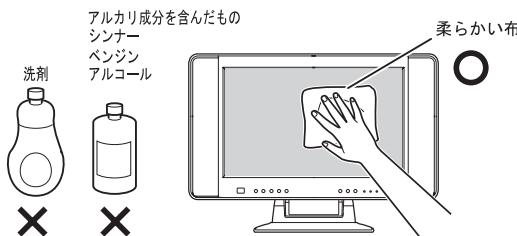
◆ 重要

市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。

- ・アルカリ性成分を含んだもの
- ・界面活性剤を含んだもの
- ・アルコール成分を含んだもの
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
- ・研磨材を含むもの
- ・化学ぞうきん
- など

□ 画面

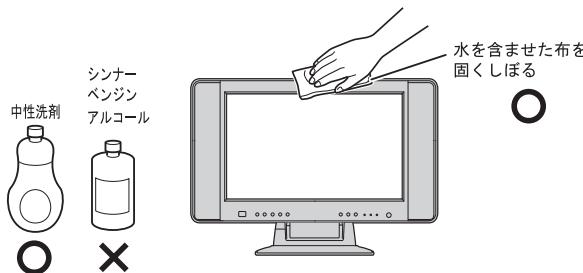
ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。

また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように十分注意してください。



16仕様

標準表示仕様

解像度	水平周波数	垂直周波数
640 × 400	31.5kHz	70Hz
640 × 480	31.5kHz	60Hz
720 × 400	31.5kHz	70Hz
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz
1024 × 768	48.4kHz	60Hz
1280 × 768	48.0kHz	59.8Hz

解像度（モード）の設定のしかたは、『FMV の使い方』をご覧ください。

POINT

- ▶ ご購入時の設定（1280 × 768）でのご使用をお勧めします。

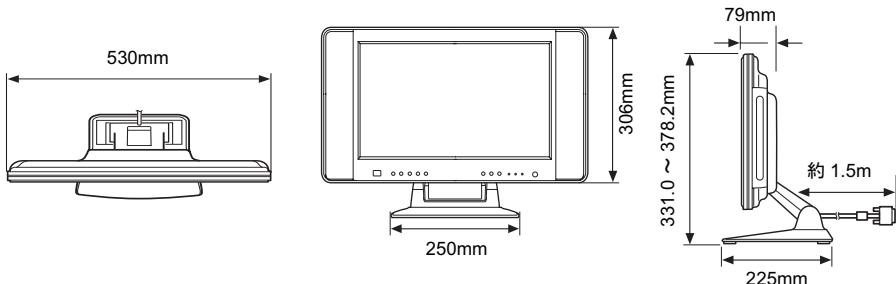
○ 重要

- ▶ 上記の 1280 × 768 および 1024 × 768（ワイド画面切替：ノーマル）以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的にフルスクリーン表示しているためであり、故障ではありません。

本体仕様

項目		仕様
対応機種		FMV-DESKPOWER
入出力 I/F	専用 LCD インタフェース	映像信号：デジタル (TMDS) DDC : DDC2B (VESA) USB : アップストリーム×1 電源 : DCSV AUDIO IN : アナログ
		USB
		テレビ
		ビデオ
		ヘッドホン端子
	解像度	
	液晶パネル	
	表示色	
	表示寸法	
	画面サイズ	
表示部	画素ピッチ	
	解像度 (モード)	
	チルト	
	入力	
	最大消費電力	
	受信チャンネル	
機能	NTSC 入力仕様	
	TV 音声仕様	
	コネクタ	
	通信方式	
	使用可能距離	
リモコン	乾電池の寿命目安	
	使用可能範囲	水平
		垂直
	使用電池	

項目		仕様
USB 部	仕様	USB Revision1.1 対応、セルフパワー電源
	供給可能電流	500mA (max) ／ 1 ポートあたり
	動作環境	Windows XP
	ポートコネクタ	ダウンストリーム：シリーズ A
スピーカー	方式	タイムドメインスピーカー
	スピーカーユニット	口径：φ32mm
	定格（最大）出力	3W × 2
外形寸法	530mm (W) × 225mm (D) × 331.0 ~ 378.2mm (H)	
質量	約 8.3kg (AC アダプタを含む)	
使用環境	温度：10 ~ 35 °C	
	湿度：20 ~ 80% (RH) (最高湿球温度 29 °C 結露しないこと)	



FMV-DESKPOWER
液晶ディスプレイー 17ワイドTV (VL-17WVX1)
取扱説明書

B5FH-8271-01-00

発行日 2003年5月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

-
- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。
 - 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

⑤0304-1

FUJITSU

R 100

古紙配合率100% 再生紙を使用しています。



大豆油インキを使用しています。



* B 5 F H 8 2 7 1 0 1 *